

2024年度 中国語学科 中期留学レポート

提出者：馬場 未邦

所属：中国語学科 3年次

授業内容：中国に着いた次の日に実力分けテストが行われ、自分の能力に合わせたクラスが決まる。授業は主に精読、会話、聞き取りの三つに分かれている。授業時間は毎日8時20分から12時までと決まっていて、1日2コマ行われる。2コマのうち必ず1コマは精読の授業で、会話と聞き取りは曜日によって変わる。

成長を感じたこと、学生との交流：西安外国語大学にはアジアやヨーロッパなど様々な国からたくさんの留学生が来ていた。そのため授業内では自国の文化を発表する機会が多かった。例えば、年末年始の過ごし方だったり、結婚式の様子だったりお互いに紹介し合った。授業を通して自分が知らなかった文化に触れたことで視野が広がり、価値観が豊かになったと感じた。

また、ムスリムの学生もいたが、一緒に食事をした際に肉を避けていたことがあった。最初はその理由がよくわからなかったが、後で彼女がムスリムの食事法、つまりハラールに関する教えに従っていることを知った。私は彼女の信念と生活習慣をより深く理解することができ、宗教や文化を尊重する大切さを学んだ。